別記様式５－１４

水痘（入院例に限る。）発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第１項（同条第６項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)　　　　　（　　　　　　）　　　　　　－

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

この届出は診断から７日以内に行ってください

|  |
| --- |
| １　診断（検案）した者（死体）の類型 |
| ・患者（確定例）　・感染症死亡者の死体　 |

|  |  |
| --- | --- |
| ２　性　別 | ３　診断時の年齢 （0歳は月齢） |
| 男　・　女 | 　　　　歳（　　　か月） |

|  |  |
| --- | --- |
| 病　　　　　型 | ・その他の検査方法（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　）　検体（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　）検体採取日（　　月　　日　　）　結果（　陽性・陰性　）・臨床決定（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　） |
| 1)検査診断例　　　2)臨床診断例 |
| ４症状 | ・発熱　・発疹　・肺炎　・気管支炎　・熱性痙攣　・肝炎　・膿痂疹　・蜂窩織炎　・敗血症　・脳炎　・髄膜脳炎　・小脳炎　・小脳失調　・急性呼吸窮迫症候群（ARDS）・急性散在性脳脊髄炎（ADEM）・根神経炎　・急性腎不全　・小腸穿孔　・心膜炎・播種性血管内凝固症候群（DIC）　・多臓器不全・内臓播種性水痘　・妊婦水痘　・免疫不全・他疾患入院中の発症　・後遺症（　　　　　　　）・その他（　　　　　　　　） |
| ６　初診年月日　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日７　診断（検案(※)）年月日　　　令和　　年　　月　　日８　感染したと推定される年月日　令和　　年　　月　　日９　発病年月日（＊）　　　　　　令和　　年　　月　　日10　死亡年月日（※）　　　　　　令和　　年　　月　　日 |
| 11　感染原因・感染経路・感染地域 |
| ①感染原因・感染経路（　確定・推定　）１　飛沫・飛沫核感染（感染源となった水痘患者・帯状疱疹患者・状況：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　 ）２　接触感染（感染源となった水痘患者・帯状疱疹患者・物の種類・状況：　　 　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　 ）３　院内感染（感染伝播の状況：　　　　　　 　　　 ）　(入院していた理由（疾患名）　　　　　　　　　）４　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）②感染地域（　確定　・　推定　）１　日本国内（　　　　　都道府県　　　　市区町村）２　国外（　　　　　　　　　　国詳細地域　　　　　　　　　　　　　 ）※　複数の国又は地域が該当する場合は全て記載すること。渡航期間（出国日　年　月　日・入国日　年　月　日　国外居住者については　入国日のみで可）③水痘ワクチン接種歴 1回目　有（　　　　歳）・　無 ・ 不明 接種年月日（ S･H･R　　年　 　月　 　　日　 ・不明）製造会社/Ｌｏｔ番号（　　　　　　/　　　　 　・不明）2回目　有（　　　　歳）・ 無 ・ 不明 接種年月日（ S･H･R　　年　 　月　 　　日　 ・不明）製造会社/Ｌｏｔ番号（　　　　　　/　　　　 　・不明） |
| ５診断方法 | ・分離・同定による病原体の検出検体：水疱内容液・咽頭拭い液・末梢血リンパ球・血液・　　　髄液・その他（　　 　　　　　　　　　 ）検体採取日（　　月　　日　　）　結果（　陽性・陰性　）・蛍光抗体法による抗原の検出　検体：水疱内容液・水疱基底部拭い液（水疱内剥離感染細胞）・その他（　　　　　　　　　　　　 ）検体採取日（　　月　　日　　）　結果（　陽性・陰性　）・検体から直接のＰＣＲ法による病原体遺伝子の検出検体：水疱内容液・咽頭拭い液・末梢血リンパ球・血液・髄液・痂皮・その他（　　　　　　　　　　　　）検体採取日（　　月　　日　　）　結果（　陽性・陰性　）・血清ＩｇＭ抗体の検出　検体採取日（　　　　　 月　　　　　日　　　　　　）結果（　陽性・陰性・判定保留　）抗体価：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・ペア血清での抗体の検出　検体採取日（ 1回目　 月　 日　2回目　 月　 日 ）　　抗体価　　（ 1回目　　　　 　 2回目　　 　　 ）　結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇検査方法： EIA ・ IAHA ・ NT ・ CF ・ その他（　　　 　） |

（1，2，4，5及び11欄においては該当する番号等を○で囲み、3及び6から10までの欄においては年齢又は年月日を記入すること。

（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

（＊）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

4及び5欄においては、該当するもの全てを記載すること。）